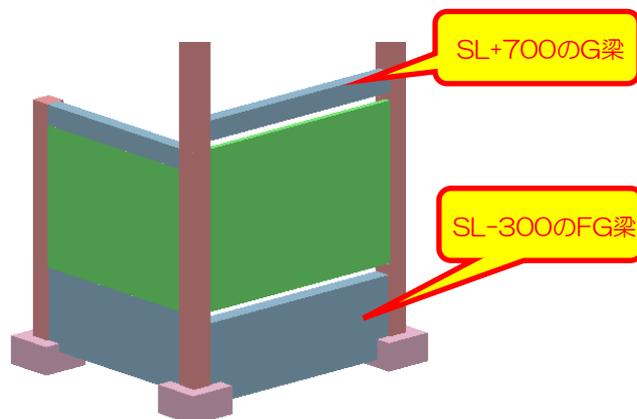


3Dで確認した時、隙間が空いて表示される

基準階レベルより下がった梁から立ち上がる壁の時、3D表示すると、梁と壁の間にすき間が空いて表示されます。（壁の上部も同様）

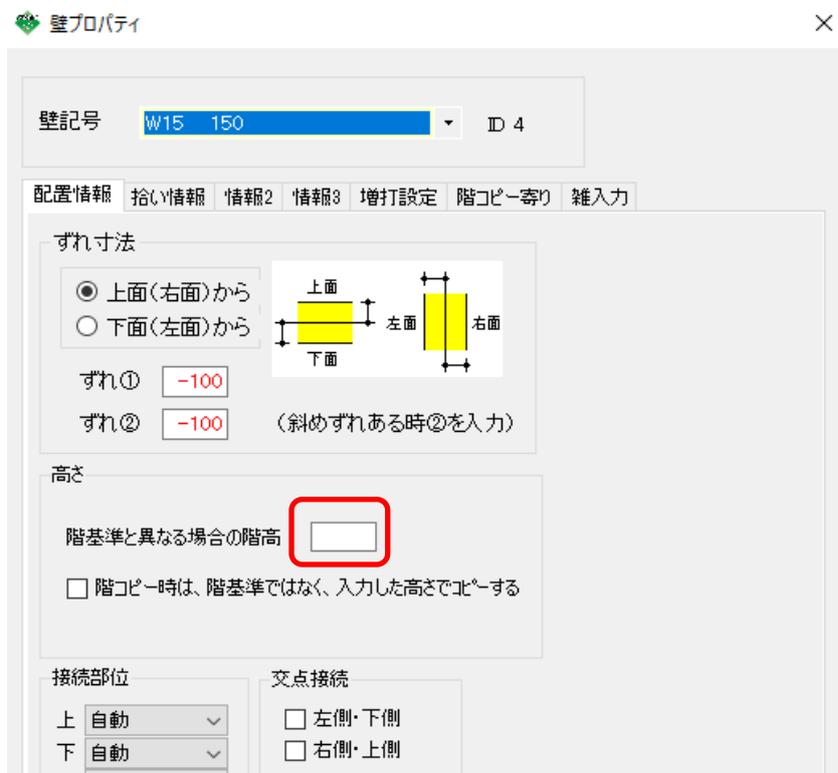


見た目上、隙間が空いて表示されますが、計算上は、隙間部分も含めて壁として正しく計算されます。

※壁や柱、パラペットなどは、3D表示などの立ち上がり開始位置は、基準階レベル位置からのため、このようになります。

(注意)

壁のプロパティにおいて、「階基準と異なる場合の階高」に何も入力されていないことが条件となります。



「階基準と異なる場合の階高」に入力がある場合、その値から、直上の梁成をマイナスした値が、壁の高さとして計算されることとなります。従って、上記例の場合、入力するのであれば、下のFG梁の天端から、上のG梁の天端までの寸法を入力する必要があります。